

## 市内58カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内58カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	測定日		測定 の高さ	
	1/22・24	2/12・14		
保育園	中央保育園	0.108	0.104	0.5m
	上町保育園	0.143	0.133	
	つつじが丘保育園	0.094	0.094	
	向原保育園	0.084	0.090	
	栄町保育園	0.129	0.123	
	下根保育園	0.133	0.139	
	つばめ保育園	0.108	0.108	
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.102	0.098	
	ふたばランド保育園	0.133	0.122	
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.092	0.088	
	牛久保育園	0.094	0.110	
	牛久ひかり保育園	0.153	0.159	
	牛久ふれあい保育園分園	0.139	0.145	
	ひたち野うしく保育園つくしんぼ	0.073	0.073	
幼稚園	第二幼稚園	0.131	0.129	0.5m
	かわい幼稚園	0.143	0.149	
	牛久幼稚園	0.137	0.131	
	ひたち野牛久幼稚園	0.145	0.153	
	こぼと幼稚園	0.094	0.100	
	フレンド幼稚園	0.086	0.090	
	牛久文化幼稚園	0.100	0.090	
	牛久教会こどものいえ幼稚園	0.094	0.088	
小学校	牛久小学校	0.163	0.157	0.5m
	岡田小学校	0.120	0.123	
	奥野小学校	0.131	0.122	
	牛久第二小学校	0.184	0.161	
	中根小学校・第一幼稚園	0.133	0.123	
	向台小学校・牛久ふれあい保育園	0.137	0.118	
	神谷小学校	0.106	0.102	
	ひたち野うしく小学校	0.139	0.143	

施設名	測定日		測定 の高さ	
	1/22・24	2/12・14		
中学校	牛久第一中学校	0.135	0.151	1m
	牛久第二中学校	0.155	0.167	
	牛久第三中学校	0.127	0.102	
	下根中学校	0.139	0.151	
	牛久南中学校	0.125	0.102	
高校	牛久高校	0.171	0.149	1m
	東洋大学附属牛久高校	0.151	0.147	
	牛久栄進高校	0.098	0.112	
その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.114	0.123	0.5m
	神谷小さくら台児童クラブ	0.165	0.169	
	教育センターきぼうの広場	0.182	0.169	
	すくすく広場	0.120	0.110	1m
	牛久クリーンセンター	0.171	0.178	
	牛久自然観察の森 二池	0.163 0.190	0.163 0.184	
公園	ひたち野みずべ公園	0.178	0.198	0.5m
	ひたち野さくら公園	0.078	0.084	
	ひたち野おやま公園	0.065	0.073	
	刈谷第1街区公園	0.143	0.129	
	本町第1街区公園	0.151	0.131	
	田宮東街区公園	0.078	0.084	
	みどり野第1街区公園	0.092	0.084	
	小坂第1街区公園	0.090	0.082	
	柏田第2街区公園	0.084	0.074	
	栄町第1街区公園	0.069	0.073	
	牛久運動公園	0.153	0.123	
	牛久運動広場	0.123	0.118	
	奥野運動広場	0.167	0.139	

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。  
 ※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

### ■追加被ばく線量の低下のために…

**市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。**  
 (環境省が長期的に達成すべき目標としている値)

※既に除染済みの施設に加え、公園や毎時0.23マイクロシーベルト(地上1m)以上の施設は、順次除染を行う予定です。

### ●食品に含まれる放射性物質③

食品に含まれるセシウムの新基準値はどのようにして決められたのでしょうか。これは、一生の間に飲料水・食事から受ける内部被ばくを100ミリシーベルトに抑えることとし、私たちが毎日口にする水や一般食料品の半分が汚染されているものと仮定して、日本人の標準的食事の量から、1年間セシウムの摂取を続けた時、年間1ミリシーベルトになるように放射性物質の量を定めたものです。

この基準は食品の汚染割合を50%と高く見積もっているため、世界的に見ても厳しい基準となっています。「広報うしく2月1号」でお知らせした、厚生労働省による食事の放射性セシウムによる放射線量についての調査から、1年間の食事の内部被ばく量約0.003~0.02ミリシーベルト(厚生労働省)で計算すると、85年間分の被ばく線量は、 $0.003 \times 85 = 0.255$ 、 $0.02 \times 85 = 1.7$ ミリシーベルトとなり、新基準の設定した100ミリシーベルトとの比較では、かなり低い状態にあります。

問 放射能対策室(環境政策課内) ☎内線1568、1569